

# 大津企業景況調査報告書

(第74回)

平成28年 7月～ 9月期 実績

平成28年10月～12月期 見通し

大津商工会議所

# 大津企業景況調査について

(平成28年7月～9月期)

## 1. 調査方法

大津商工会議所会員企業 133 社に F A X 方式による調査

## 2. 調査企業

産 業 別	調査対象企業数	有効回答企業数	回 収 率
建 設 業	22社	14社	63.6%
製 造 業	14社	10社	71.4%
卸 売 業	12社	8社	66.6%
小 売 業	32社	24社	75.0%
サービス業	53社	37社	69.8%
合 計	133社	93社	69.9%

## 3. 調査期間

調査対象期間は平成28年7月～9月とし、調査時点は平成28年9月1日とした。

## 4. 調査データについて

調査の結果を示す指数として DI 指数を採用した。DI 指数とは Diffusion Index (景気動向指数)の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値である。

「業況」、「売上高」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は、前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金借り入れの難易度」の DI 指数は、3ヵ月前との比較である。

「取引の問合せ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は、過去比較でなく水準を聞いたものである。

## 景況感は依然踊り場、先行き改善を見込む

平成 28 年 7 月～9 月期の大津企業景況調査の結果がまとまった。調査結果を示す指数として DI 指数（景気動向指数）を採用している。DI 指数は実数値などの上昇率を示すものでなく、強気、弱気などの経営者マインドの相対的な広がりの意味する。

### 全体

景況感は、全体の業況判断 DI（前年同期比）が約 2 年間▲10 前後で踊り場状態が続いている。前回調査（3 ヶ月前）の▲16 から今回▲19 と 3 ポイント悪化した。業種別では、売上・採算が良化した製造業が前年と同水準まで改善し卸売業も小幅改善したが、公共工事受注が減少している建設業や消費の停滞で売上が減少した小売業その他の業種は悪化した。

先行きの業況判断 DI は▲8 と改善を見込んでいる。業種別では、売上・採算のさらなる改善を見込む製造業や新たな経済対策により公共工事の増加を見込む建設業等ほとんどの業種で改善を見込んでいる。ただし、業況改善を見込む割には新規設備投資には慎重になっており、その傾向は製造業において顕著である。

#### □ 業況判断 DI（前年同期比）は、景況感の踊り場続く

「前年同期比でみた業況判断 DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、約 2 年間▲10 前後で踊り場が続いている。前回調査（3 ヶ月前）の▲16 から今回▲19 と 3 ポイント悪化した。業種別では、製造業が大幅改善して前年並みまで改善し卸売業も小幅改善したが、公共工事受注が減少している建設業や消費の停滞で売上が減少した小売業その他の業種は悪化した。

#### □ 売上 DI（前年同期比）は、前年比マイナスが続く。建設業、小売業で顕著

「前年同期比でみた売上 DI(全体)」（「増加」－「減少」）は、前四半期の▲10 から今四半期は▲17 と悪化した。業種別にみると、建設業、小売業の減少が顕著である。建設業は受注の減少、小売業は消費の停滞によるものとみられる。

#### □ 採算 DI（前年同期比）は、前年比悪化が続く。建設業は大幅悪化、製造業は改善

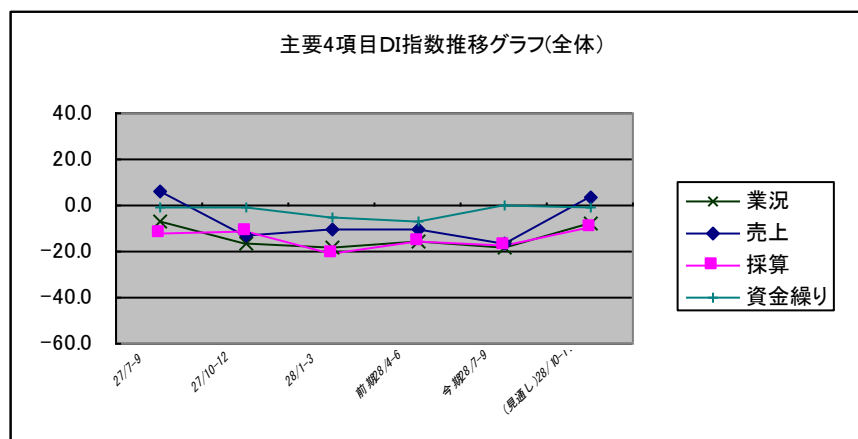
「前年同期比でみた採算（経常利益）DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、前四半期▲16 から今四半期▲18 と悪化が続いている。業種別にみると、建設業が大幅悪化。製造業は改善している。

#### □ 資金繰り DI（3 ヶ月前比）は、前四半期から改善

「3 ヶ月前比でみた資金繰り DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、前四半期の▲7 から今四半期±0 と改善した。業種別にみると、建設業を除くすべての業種で改善している。

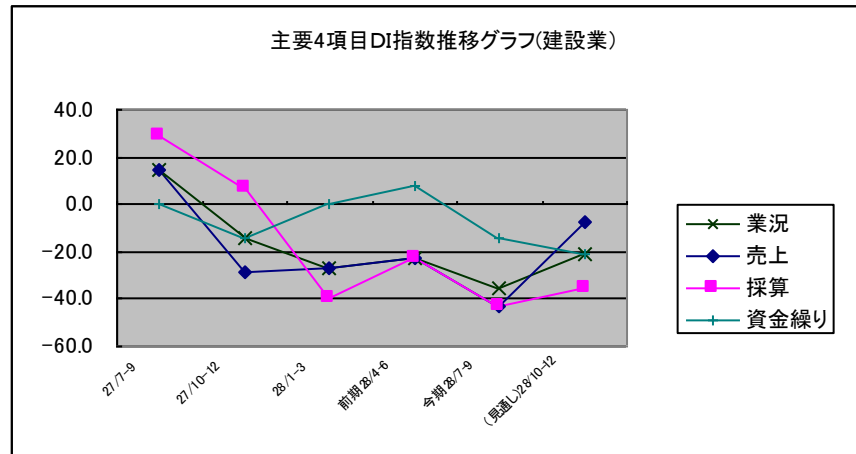
#### □ 従業員 DI（前年同期比）は、前年比横ばい。すべての業種で人員不足気味

「前年同期比でみた従業員 DI(全体)」（「不足」－「過剰」）は、前四半期の+10 が今期+11 と人員不足感はほぼ横ばいである。業種別にみると、すべての業種で人員不足気味である。



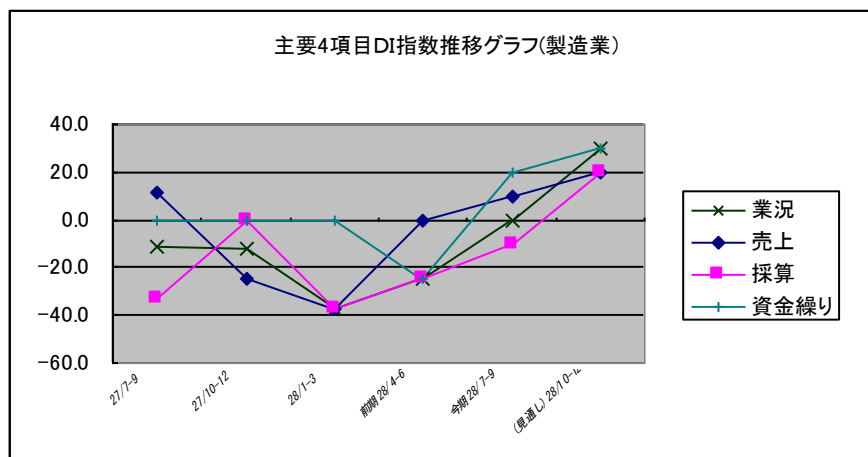
## 建設業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲23 から今四半期には▲36 と大幅に悪化した。個別指標をみると「売上」が前四半期の▲23 から今四半期▲43 と大幅に減少し、「採算」は▲23 から▲43 と大幅に悪化した。これは公共工事の請負額が前年を下回っているため等によるとみられる。



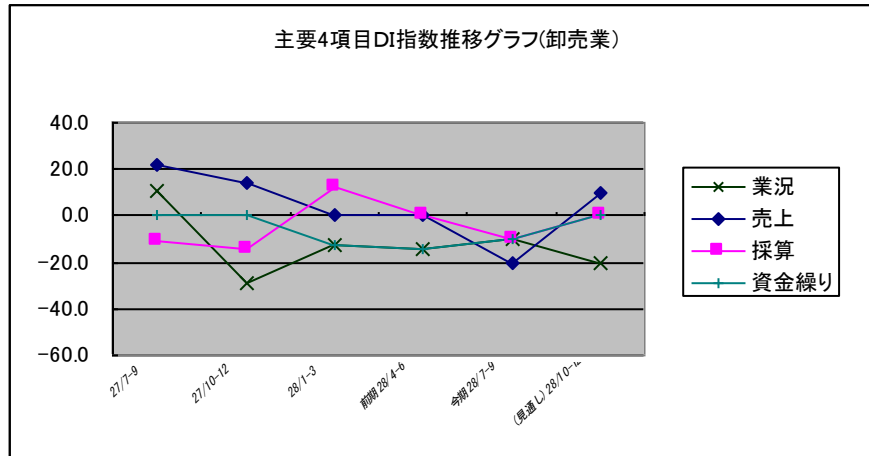
## 製造業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期▲25 から今四半期は±0 と改善した。個別指標をみると「売上」は前四半期の±0 から今四半期+10 と良化し、「採算」も前四半期の▲25 から今四半期▲10 と改善しており、「採算水準」も±0 から+10 となり黒字基調となった。



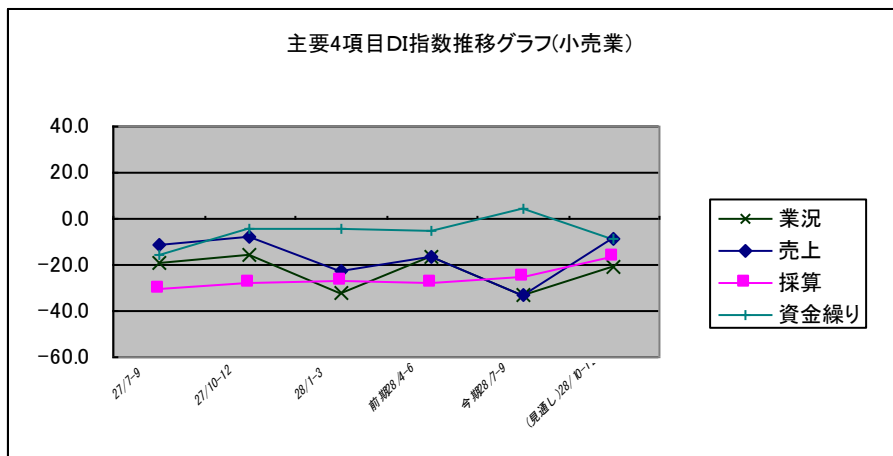
## 卸売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲14 から今四半期は▲10 と小幅改善した。個別指標をみると「売上」は前四半期の±0 から今四半期は▲20 と減少したが、「採算水準」は黒字基調が続いているためとみられる。



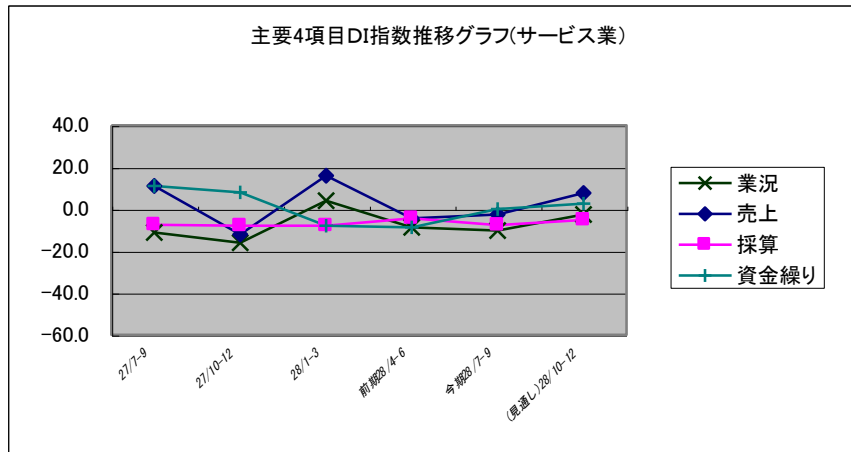
## 小売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲17 から今四半期は▲33 と悪化した。個別指標をみると「売上」は前四半期の▲17 から今四半期は▲33 と減少し、「採算」も悪化が続いている。経済の先行き不安から消費者の購買行動が慎重になって消費が停滞していること等によるものと思われる。



## サービス業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲9 から今四半期は▲10 とほぼ横ばいである。個別指標をみると「売上」は前四半期▲4 から今四半期は▲3 とほぼ横ばいであり、「採算水準」も+9 から+10 とほぼ横ばいである。



来四半期（3ヵ月後）の「業況」DIは、今四半期の▲19から▲8と11ポイント改善すると見込んでいる。個別指標をみると、「売上」が増加し「採算水準」の黒字幅が広がると見込んでいる。

業種別では、売上・採算のさらなる改善を見込む製造業が業況DI+30と大幅改善を見込み、経済対策での公共工事増加等による売上増加を見込む建設業、そして小売業、サービス業も売上、採算とも改善するとして業況の改善を見込んでいるが、卸売業だけがやや悪化を見込んでいる。

3ヵ月後の設備投資については、設備投資計画があると回答した企業の割合は全体で前四半期から8ポイント減少して21%である。業種別にみると、卸売業が最も高く30%、建設業と小売業が21%、製造業が20%、サービス業が18%である。投資企業の投資内容の割合は、「更新投資」が59%で最も多く、「合理化・省力化」が14%である。投資方針は、投資内容から「計画通り」が60%と高く、「景気により見直す」が35%である。

先行き改善を見込んでいる割には、全体に新規投資に慎重になっている。そしてその傾向は製造業において顕著である。

田中マネジメント事務所  
MBA・中小企業診断士 田中清行

## (今の経済情勢に対する意見)

以下は、今の経済情勢に対する意見である。

- 円相場に振り回されているように思う。固定需要の増加が望まれる。当社は完全受注生産の為、1月先でも見通せない。8月に9月の予想を、感覚では話せても数値で読み取る事は難しい。質問に答え難い内容が多い。(製造業)
- 円相場が不安定なので、貿易などで車の相場が不安定になる。(小売業)
- 平均値が上がる事で、差別化が難しくなって、どこで買っても「そこそこ」の状態化。決定の理由は「利便性」利便性を超える希少価値なのかと悩む今日この頃です。(小売業)
- 公共投資の増加に期待する。(サービス業)
- 円高になる事を望む。(サービス業)

## DI 指数一覧表

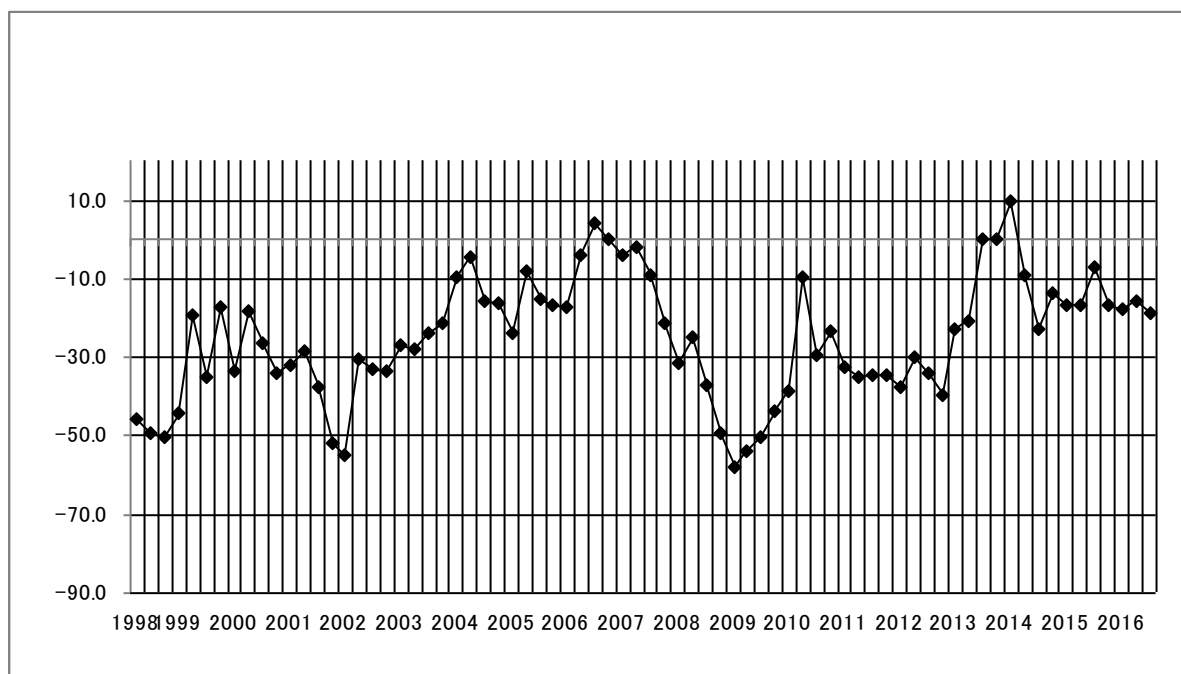
	業 況		売 上 高		採 算 (経常利益)	
	7-9 月期 動 向	10-12 月期 見 通 し	7-9 月期 動 向	10-12 月期 見 通 し	7-9 月期 動 向	10-12 月期 見 通 し
全 体	▲18.6	▲8.2	▲16.5	3.1	▲17.5	▲9.3
建 設 業	▲35.7	▲21.4	▲42.9	▲7.1	▲42.9	▲35.7
製 造 業	0.0	30.0	10.0	20.0	▲10.0	20.0
卸 売 業	▲10.0	▲20.0	▲20.0	10.0	▲10.0	0.0
小 売 業	▲33.3	▲20.8	▲33.3	▲8.3	▲25.0	▲16.7
サービス業	▲10.3	▲2.6	▲2.6	7.7	▲7.7	▲5.1
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

	採算 (経常利益) の水準		取引の問い合わせ		従 業 員	
	7-9 月期 動 向	10-12 月期 見 通 し	7-9 月期 動 向	10-12 月期 見 通 し	7-9 月期 動 向	10-12 月期 見 通 し
全 体	7.2	22.7	▲18.6	▲17.5	11.3	13.4
建 設 業	21.4	7.1	▲7.1	▲21.4	7.1	0.0
製 造 業	10.0	30.0	0.0	0.0	10.0	10.0
卸 売 業	30.0	30.0	▲30.0	▲20.0	10.0	10.0
小 売 業	▲16.7	4.2	▲29.2	▲29.2	16.7	16.7
サービス業	10.3	35.9	▲17.9	▲12.8	10.3	17.9
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	



	資金繰り		長期資金借入難易度		短期資金借入難易度	
	7-9月期 動向	10-12月期 見通し	7-9月期 動向	10-12月期 見通し	7-9月期 動向	10-12月期 見通し
全体	0.0	▲1.0	▲2.1	▲3.1	0.0	0.0
建設業	▲14.3	▲21.4	▲14.3	▲14.3	0.0	0.0
製造業	20.0	30.0	0.0	0.0	▲10.0	▲10.0
卸売業	▲10.0	0.0	10.0	0.0	20.0	10.0
小売業	4.2	▲8.3	0.0	▲8.3	0.0	▲8.3
サービス業	0.0	2.6	▲2.6	2.6	▲2.6	5.1
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

本調査開始（1998年 第二四半期）以降 業況DI指数推移グラフ（全体）



※縦目盛り軸は、全業種の業況DI指数を表しています。横目盛り軸は、調査年を西暦で表しています。

## 大津商工会議所

〒520-0806

滋賀県大津市打出浜 2 番 1 号

コラボしが 21 9 階

TEL : 0 7 7 - 5 1 1 - 1 5 0 0

FAX : 0 7 7 - 5 2 6 - 0 7 9 5

URL <http://www.otsucci.or.jp/>